

B-27 被服の機能に関する研究

昭和女子大学 石毛フミ子

洋服における胸部、背部のゆるみ及び袖山の高さは、上半身の動作ならびに上肢の運動に影響する所が多く、且つ外観上からも重要なことがらである。

そこで私は上半身の動作にともなう胸囲の変化及び胸部と背部の寸法の変化を実測し、必要ゆるみ分量を求め、次に各方式によるゆるみ分量にしたがって基本的な平常用ブラウスを製作し、着用実験によって外観、機能の面から適当なゆるみを検討した。

更に袖山の高さが身ごろのゆるみに関係が深いので、上肢の運動による腕廻りならびに袖山の高さの変化を実測し、袖山の高さと、身ごろのゆるみをかえたブラウスを製作し、着用実験によって外観、機能の面から身ごろのゆるみと、袖山の高さとの関係を検討したのでその結